

【しやうあみたぶつ讓狀】

(端裏書)しやうあミたふつのゆつり狀  
(阿弥陀仏) (讓)

九てうに候ゑんゆうしてんにたんかてつ  
(条) (円融寺力) (田) (二反) (手繼)  
きほんせうもんをあひくして、しんれん  
(本証文) (相具)  
ハうくまのゝ御はつを物ゝしちにいれ  
(熊野) (初) (の) (質) (入)  
をき候て、なかして候、あまハさハくり候  
(置) (流) (尼)  
はん事も、わつらわしく候へハ、てつ  
(煩)  
きせうもんをあひそへて、たむらの  
(相副)  
九郎二郎殿になかくゆつりまいら  
(讓進)  
せ候、御さハくり候て、御りやうちせさせ給  
(領知)  
候へく候、あまかいちこハ、せうくをも御ハ  
(一期) (少々)  
からい候へく候、よんてのちのさたのた  
(仍) (後沙汰)  
めに、しやうくたんのことし、  
(狀) (如件)

けん々々にねん四月八日  
(乾元二年) (一三〇三)

しやうあミたふ(花押)